

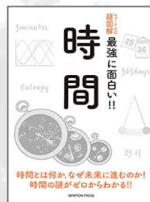
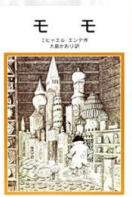
時間について考えてみよう

6月10日は「時の記念日」です。1920年、時間を大切にしようとして生活改善同盟会が決めました。そもそも、だれにとっても平等に過ぎていく時間とは、いったい何なのでしょう？楽しい時はあっという間に過ぎ、退屈な時は時間が長く感じる場合がありますよね。また、つい手に取ったスマホ（スマートフォン）を使い始めると、時間を忘れて没頭してしまい、やるべきことをおろそかにしたり、寝不足になってしまったりすることがありませんか。6月10日の「時の記念日」にもう一度日々の生活リズムを見直し、時間をどう大切に過ごすか考えてみませんか。

私が「時間」と聞いて思い浮かぶのは、愛読しているミハエル・エンデの「モモ」です。本書の中で、掃除夫のベッポが主人公のモモに語る一節を紹介します。

「とても長い道路を受け持つことがある。おそろしく長くて、これじゃとてもやりきれないと思ってしまう。」掃除夫のベッポは、しばらく口をつぐんで、やがてまたつづけます。「そこでせかせかと働きます。どんどんスピードをあげていく。ときどき目をあけて見るんだが、いつ見ても、残りの道路はちっともへっていない。だからもっとすごい勢いで働きまくる。心配でたまらないんだ。そして、しまいには息が切れて、動けなくなってしまふ。こういうやり方は、いかんだ。」ここでしばらく考え込みます。それからようやく、さきを続けます。「一度に道路のことを全部考えてはいかん。分かるかな？次の一歩のことだけ、次のひと呼吸のことだけ、次のひと掃きのことだけを考えるんだ。いつもただ次のことだけをな。」掃除夫のベッポはまたひと休みして、考え込み、それから、「すると楽しくなってくる。これが大事なんだな。楽しければ、仕事があまくはかどる。こういうふうにやらにゃ、だめなんだな」そしてまたまた長い休みをとってから、「ひょっと気がついた時には、一歩一歩すすんできた道路が全部おわっとる。どうやってやり遂げたかは、自分でもわからんし、息も切れていない。」ベッポはひとりうなずいて、こう結びます。「これがだいじなんだ。」

部活動、テスト勉強などやらなくてはいけないことがたくさんあると思います。みなさんも掃除夫ベッポのように時間を大切に「一歩一歩」すすんでほしいと思います。図書室には、ミハエル・エンデの「モモ」のほか「時間」に関する本をたくさん所蔵しています。ぜひ読んでみてください。



6月 開館カレンダー

返却期日までに本を読めなかった場合は、延長することができます。延滞しないために、図書室へ本を持って「延長したい」と司書または図書当番に伝えてください。さらに2週間借りることができます。また、借りた本で汚損や破損があった場合も司書に教えてください。



sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
				中間テスト	中間テスト	
4	5	6	7	8	9	10
	特別日課	お昼休み 図書当番	司書在室	お昼休み 図書当番	司書在室	
11	12	13	14	15	16	17
	司書在室	お昼休み 図書当番	司書在室	お昼休み 図書当番	司書在室	
18	19	20	21	22	23	24
	司書在室	お昼休み 図書当番	司書在室	お昼休み 図書当番	司書在室	
25	26	27	28	29	30	
	司書在室	お昼休み 図書当番	司書在室	お昼休み 図書当番	司書在室	